

第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会

開催要項

【大会スローガン】

縁結びの地 島根で 学ぼう、つながろう、始めよう!

～地域の人づくり・つながりづくりを進めるために～

【趣旨】


少子高齢化や過疎化の進行、価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域の教育力の低下やつながりの希薄化、文化や規範の次世代への継承の困難化など、様々な課題が指摘されています。

中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」（平成30年12月）においては、新たな社会教育の方向性として、「開かれ、つながる社会教育の実現」というキーワードが示され、住民の主体的な参加のためのきっかけづくり、ネットワーク型行政の実質化、地域の学びと活動を活性化する人材の活躍が強調されました。

そこで、本大会においては、今一度、社会教育において大切にしたいことに立ち返り、「地域の教育資源（ひと・もの・こと）を活かした人づくり・つながりづくり」の研究主題のもと、中国・四国地区の社会教育委員をはじめとする生涯学習・社会教育関係者が一堂に会して、互いの実践や研究を学び、新たな社会教育の方向性に向けた情報を共有することにより、今後の社会教育の推進につなげることを趣旨といたします。

- 1 研究主題 「地域の教育資源（ひと・もの・こと）を活かした人づくり・つながりづくり」
- 2 期 日 令和5年11月16日（木）～17日（金）
- 3 会 場 島根県民会館（松江市殿町158）
- 4 参加者 中国・四国地区各県及び市町村の社会教育委員、公民館職員、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育支援関係者、行政関係者、社会福祉関係者、社会教育に関心をお持ちの方等
- 5 主 催 一般社団法人全国社会教育委員連合、中国・四国地区社会教育委員連絡協議会、島根県社会教育委員連絡協議会、第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会実行委員会
- 6 共 催 島根県教育委員会 松江市教育委員会
- 7 後 援 中国・四国地区各県教育委員会、島根県市長会、島根県町村会、島根県公民館連絡協議会
- 8 参加費 3,000円（資料代）

9 日 程

11:30		12:20		13:50		15:20 15:30		16:50 17:10	
1日目 11/16(木)	受付	アトラクション 開会行事		基調講演		休憩	パネル ディスカッション		閉会行事
9:00		9:30		12:00					
2日目 11/17(金)	受付	人づくり・つながりづくりを進める分科会 (1) 地域づくり × 社会教育 (2) 福 祉 × 社会教育 (3) 子 ど も × 社会教育 (4) 社会教育委員 × 未 来							

10 次 第

(1) 1日目 11月16日(木)

11:30~12:20 受付

12:20~13:50 アトラクション・開会行事

「アトラクション」

- ・テーマ 島根で受け継がれる心~地域や世代を超えて大切にしたい、この想い~
- ・発表 島根県立浜田商業高校郷土芸能部

「開会行事」

- ・開会のことば
- ・主催者挨拶
- ・来賓祝辞
- ・歓迎のことば

13:50~15:20 「基調講演」

- ・講師 千葉大学 名誉教授 明石 要一 氏
- ・演題 「AI(人工知能)と共存する社会教育の可能性を探る」

15:30~16:50 「パネルディスカッション」

- ・テーマ 「開かれ、つながる社会教育の実現」に向けて
- ・コーディネーター 島根県教育魅力化特命官
- ・パネリスト 浜田市魅力化コーディネーター
益田市立高津中学校主幹教諭
NPO 法人 KEYS 代表
- ・コメンテーター 千葉大学 名誉教授

岩本 悠 氏
大地本由佳 氏
田原 俊輔 氏
藤原 睦己 氏
明石 要一 氏

16:50~16:55 「事務連絡」

16:55~17:10 「閉会行事」

- ・大会宣言採択
- ・次年度開催県挨拶
- ・閉会のことば



(2) 2日目 11月17日(金)

9:00~ 9:30 受付

9:30~12:00 「人づくり・つながりづくりを進める分科会」

【第1分科会】 地域づくり × 社会教育

助言者	山口大学 霜川 正幸 氏
進行	島根県隠岐教育事務所 企画幹 加多 研吾 氏
事例発表者①	香川県丸亀市飯山南コミュニティ協議会 会長 進 和彦 氏
テーマ	深めよう地域の絆「法の郷づくり」 — 歴史と出合い 人と出合い 未来と出会う —
発表概要	古くから米作りの里として栄えてきた地域の特性を活かした「コミュニティまつり」や、本を通して人とひとを繋ぐきっかけづくりの「まちライブラリー事業」、そして変わっていくまちの景色やその時のできごとを言葉と写真で残す役目「コミュニティだより」の発行などの事例を紹介します。
事例発表者②	島根県 海士町社会教育委員 永原 馨 氏 御波地区 元平 優里 氏 海士町教育委員会 勇木 香織 氏
テーマ	行政の取り組みを活用した地域の活性化
発表概要	もともと過疎化が進んでいた海士町御波地区でしたが、近年子育て世代や若者が増加し、地域の行事が活発に行われるなど地域全体が活気づいています。行政が行っている様々な取組を活用して、地域がどう変化していったのか。事例や地域の方の声をもとに発表します。

【第2分科会】 福祉 × 社会教育

助言者	美作大学 小坂田 稔 氏
進行	島根県出雲教育事務所 企画幹 安井 寿裕 氏
事例発表者①	広島県 北広島町まちづくりセンター 河村 由起子 氏 北広島町教育委員会 松長 二三枝 氏
テーマ	地域づくりの拠点、「居場所」になる北広島町まちづくりセンター
発表概要	「居場所」とは単に場所だけではありません。地域の人々が心地よく過ごし、交流し、共に成長することができる空間でもあります。令和3年に新しく建て替わった北広島町まちづくりセンターが、地域の課題に向き合いながら「居場所」づくりに取り組んでいる事例を紹介します。
事例発表者②	島根県 雲南市3C夢クラブ 土江 博昭 氏 岡本 美緒 氏 岡田 尚子 氏
テーマ	「個性を育む創造プロジェクト」 ～広げよう 深めよう 私の個性～ 3C「夢」club の取組から
発表概要	「Chance」!「Challenge」!「Change」!をコミュニケーションワードとして、社会教育の場で、雲南市内の特別支援学級の児童生徒を対象に体験活動を行っているのが 3C「夢」club です。支援が必要な子どもたちに特化したプログラムの実践の是非について議論し、現在、5年目になります。3C「夢」club の立ち上げの経緯や背景、目指す方向性、そして現状と課題について発表します。

【第3分科会】

子ども × 社会教育

助言者	一般社団法人コムスクえひめ 西村 久仁夫 氏
進行	島根県浜田教育事務所 調整監 山藤 真樹 氏
事例発表者①	高知県 高知市社会教育委員長 川田 真由美 氏 春野中学校地域 CN 逸見 季世 氏
テーマ	コミュニティ・スクールを「ひろげる・つなげる」ためのトライ&エラー
発表概要	立ち上げ2年目の春野CS。学校と地域が少しずつ具体的につながり始め、子ども達と対話を重ねながら未来への種まきをしている真っ最中。いつか大人になり社会を担う子ども達のために、どんな種をどうまけばいい？ 奮闘する地域CNのトライ&エラーを発表します。
事例発表者②	島根県 かわもとあそラボ 大村 信望 氏 川本町教育委員会 吉本 悠真 氏
テーマ	楽しくないと始まらない、楽しくないと続かない、楽しいだけでは意味がない
発表概要	「やってみたい!」から始まる楽しさを大事にした多様な活動。子ども達は地域を舞台に何をして、どんな意味をつくっているのでしょうか？ 動画を交えた子ども達の活動の様子とともに、子ども達を支える地域の大人達の取組やその立ち上がりについて紹介します。

【第4分科会】

社会教育委員 × 未来

助言者	徳島県社会教育委員連絡協議会 馬場 祐次朗 氏
進行	益田教育事務所 企画幹 福原 英忠 氏
事例発表者①	鳥取県 南部町社会教育委員 都田 沙希 氏 南部町教育委員会 大下 真史 氏
テーマ	社会教育委員による幸せ探究活動
発表概要	「町民が幸せに暮らせるために、社会教育委員として何ができるのか。自覚を持ち、認知度を高め、人づくりの循環を支える。」社教法17条には、こだわりません。できることをできる範囲で楽しむ人口1万人の南部町社会教育委員の会のちょっとした仕掛けを紹介します。
事例発表者②	島根県 益田地区社会教育連絡協議会 鹿野 浩一 氏 吉永 よしか 氏 上山 豊和 氏
テーマ	「社会教育について一緒に学んでみ益鹿（ますか）」
発表概要	自分たちの思いで復活させた益田地区社会教育委員連絡協議会。常に地域の“今”と向き合いながら、“未来”へのつながりをつくる、益田地区（益田市・津和野町・吉賀町）の社会教育委員の取組を、各市町の社会教育委員の思いも込めて発表します。

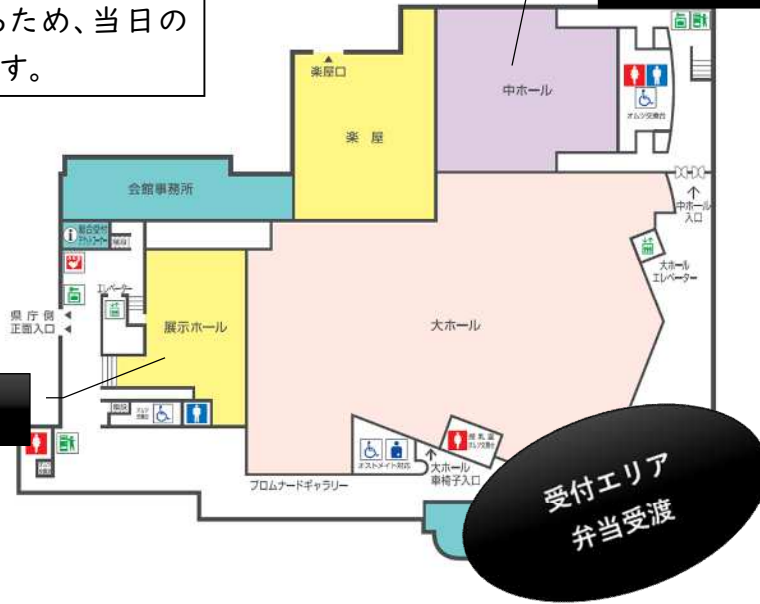
11 フロアガイド

※分科会会場については、参加人数により最終的に割り当てるため、当日の配付資料にてお伝えします。

- 全体会会場 (11/16)
- 分科会会場 (11/17)

1F

- 分科会会場 (11/17)



2F

- 分科会会場 (11/17)



3F

- 分科会会場 (11/17)



[問い合わせ先]

第45回中国・四国地区社会教育研究大会島根大会実行委員会事務局

(島根県教育庁社会教育課内) 担当：福本修司

TEL: (0852) 22 - 5429 FAX: (0852) 22 - 6218

Email: shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp